

第277号

目 次

関 係 法 令..... 2	寄 稿　　〈海外教育事情視察を終えて〉.....10
諸 会 議..... 2	学内レクリエーション..... 12
学 事..... 3	〈昭和61年度教職員文化展〉..... 12
昭和62年度富山大学学生募集要項..... 3	〈卓球大会〉..... 12
人 事 異 動..... 9	〈釣大会〉..... 12
学 内 諸 報..... 9	〈バドミントン大会〉..... 13
叙 勲..... 9	職 員 消 息..... 13
文部省永年勤続者表彰..... 9	主 要 行 事..... 14
海外渡航者..... 9	資 料..... 17
中国遼寧大学長、同大学外事顧問の来学.....10	昭和62年度に開催予定の主要会議及び大会行事
昭和61年度全国公務員レクリエーション共同行	予定表..... 17
事富山地区卓球大会..... 10	

関係法令

政 令

- 研究交流促進法の施行期日を定める政令 (344) 11・18
 (注) 研究交流促進法の施行期日が昭和61年11月19日と定められた。
- 研究交流促進法施行令 (345) 11・18
 (注) 試験研究機関等及び研究公務員を定め、外国人を任用できない研究公務員の範囲等を定める等がなされた。
- 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の一部を改正する法律の施行期日を定める政令 (346) 11・22
 (注) 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の一部を改正する法律の施行期日を昭和61年11月26日とすることになった。
- 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令の一部を改正する政令 (347)

府 令

- 国際規制物資の使用に関する規則の一部を改正する総理府令 (総理64) 11・26

省 令

- 研究交流促進法による文部省所管の試験研究施設の使用に係る認定手続を定める省令 (文部38) 11・18
 (注) 研究交流促進法による文部省所管の試験研究施設の使用に係る手続が定められた。

規 則

- 人事院規則17-0 (管理職員等の範囲)の一部を改正する人事院規則 (人事院17-0-7) 11・29
 (注) 別表文部省の部高エネルギー物理学研究所の項中に新たに放射線安全管理センター長を加え、同部国立社会教育研修所の項を削ることが定められた。

諸 会 議

昭和61年度第1回文化部会 (11月6日)
 (議 題)

- (1) 大学祭について

昭和61年度第2回体育部会 (11月6日)
 (議 題)

- (1) 昭和61年度在来生合宿研修について
- (2) 第39回北陸地区国立大学体育大会について

昭和61年度第1回教務委員会 (11月7日)
 (審議事項)

- (1) 昭和62年度私費外国人留学生のための富山大学入学志願案内 (案) について
- (2) 外国人留学生懇談会実施 (案) について

第10回学長選考基準検討委員会 (11月14日)
 (議 題)

- (1) 学長選考基準について

昭和61年度第6回学園ニュース編集委員会 (11月17日)
 (協議事項)

- (1) 第54号学園ニュースの編集について

第2回富山大学情報処理センター運営委員会 (11月17日)
 (審議事項)

- (1) センター長の推薦について
- (2) 運営予算の一部変更 (案)
- (3) 一般設備費の要求について

昭和61年度第3回授業料等減免選考委員会(11月18日)
(議 題)

(1)昭和61年度後期分授業料免除について

昭和61年度第4回補導協議会(11月18日)
(審議事項)

- (1)昭和61年度在来生合宿研修について
- (2)厚生補導研究会について
- (3)第39回北陸地区国立大学体育大会について

昭和61年度第3回部局長懇談会(11月18日)
(議 題)

(1)当面の諸問題について

昭和61年度第4回大学院委員会(11月21日)
(審議事項)

- (1)昭和62年度富山大学大学院人文科学研究科(修士課程)学生募集要項について
- (2)昭和62年度富山大学大学院理学研究科(修士課程)及び工学研究科(修士課程)第2次学生募集要項について
- (3)富山大学大学院学則の一部改正(案)について

昭和61年度第8回評議会(11月21日)
(審議事項)

- (1)昭和62年度富山大学教育専攻科及び経済学専攻科学生募集要項について
- (2)教官総覧について

学 事

昭和62年度富山大学学生募集要項

本学は、昭和62年度の富山大学学生募集要項を11月6日(木)に次のとおり発表しました。

昭和62年度富山大学学生募集要項(抜粋)

1 募 集 人 員

学部	学科・課程(専攻教科)	募集人員	学部	学科・課程(専攻教科)	募集人員
人文学部	人文学科	95	理学部	数学科	43
	語学文学科	95		物理学科	47
	計	(注1) 190		化学科	43
教育学部	小学校教員養成課程	140		生物学科	35
	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 数学) 理科, 音楽, 美術 保健体育, 家庭 技術, 英語	50		地球科学科	32
				計	(注3) 200
			工学部	電気工学科	53
				工業化学科	48
	金属工学科	43			
機械工学科	53				
生産機械工学科	43				
養護学校教員養成課程	20	化学工学科	43		
幼稚園教員養成課程	30	電子工学科	43		
計	240	計	326		
経済学部	昼間主 コース	経済学科	144	総 計	1,386
		経営学科	124		
		経営法学科	102		
	夜間主 コース	経済学科	20		
		経営学科	20		
		経営法学科	20		
計	(注2) 430				

(注) 1 人文学部の募集人員(190)には、帰国子女及び社会人のための特別選抜によるもの(若干名)を含む。

2 経済学部の募集人員(430)には、推薦入学(昼間主コース18名以内、夜間主コース20名程度)、帰国子女及び社会人のための特別選抜によるもの(帰国子女特別選抜若干名、社会人特別選抜20名程度)を含む。

なお、経済学部の「昼間主コース」とは、主として昼間の授業を履修するコースであり、「夜間主コース」とは、主として夜間の授業を履修するコースであるが、修業年限は共に4年である。

3 理学部の募集人員(200)には、物理学科の定員一部留保第2次募集人員(12)、化学科・生物学科・地球科学科における帰国子女のための特別選抜及び生物学科における社会人のための特別選抜によるもの(若干名)を含む。

2 出 願 期 間

昭和62年1月12日(月)から1月19日(月)まで。(19日消印有効)

受付は午前9時から午後5時まで。ただし、土曜日は正午までとし、日曜日及び祝日は受け付けない。

3 検 査 期 日

昭和61年3月5日(木)

(教育学部小学校・養護学校・幼稚園教員養成課程の実技検査は、3月6日(金))

4 入学者の選抜方法

入学者の選抜は共通第1次学力試験、第2次の学力検査、調査書及び健康診断を総合して行う。

ただし、経済学部「夜間主コース」入学者の一般選抜は、共通第1次学力試験、調査書及び健康診断を総合して行う。

(1) 共通第1次学力試験の受験を要する教科

本学における共通第1次学力試験の受験を要する教科は次のとおりである。

学 部	受験を要する教科名	受験を要する教科数
人文学部 教育学部 経済学部 理学部	国語, 社会, 数学, 理科, 外国語	5教科
工学部	国語, 数学, 理科, 外国語	4教科

(2) 第2次の学力検査

本学が実施する第2次の学力検査の検査教科・科目は次のとおりとし、高等学校卒業の学力程度を標準として出題する。

第2次の学力検査教科・科目

学 部	学科・課程(専攻教科)	検 査 教 科 ・ 科 目	
		教 科 等	科 目
人文学部		国 語 外 国 語	国語Ⅰ・国語Ⅱ 英語Ⅰ・英語ⅡB, ドイツ語, 朝鮮語, 中国語, ロシア語のうちから英語は2, その他は1科目選択
教育学部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程	国 語 数 学 外 国 語 芸 術	国語Ⅰ・国語Ⅱ 代数・幾何, 基礎解析 英語Ⅱ・英語ⅡB
	幼稚園教員養成課程		音楽実技 美術実 技
	保健体育		体育実 技

教育学部	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 英語)	国 外 語	国語 I・国語 II 英語 II・英語 II B	} 1 教科選択
	(数学, 理科, 家庭, 技術)	数 学	代数・幾何, 基礎解析 英語 II・英語 II B	
	(音 楽)	芸 術	音楽実技	
	(美 術)	芸 術	美術実技	
	(保 健 体 育)	保健体育	体育実技	
経済学部	昼間主コース	数 学	代数・幾何, 基礎解析 英語 II・英語 II B 2 科目 又はドイツ語 1 科目選択	} 1 教科選択
理学部	数 学 科	数 学	代数・幾何, 基礎解析, 微分・積分, 確率・統計(統計は除く)	
	物 理 学 科	数 理 学 科	代数・幾何, 基礎解析 物理	
	化 学 科	数 理 学 科	代数・幾何, 基礎解析 化学	
	生 物 学 科	理 科 其 他	物理, 化学, 生物, 地学のうちから 1 科目選択 小論文〔自然科学を学ぶのに必要な論理的な思考能力 並びに表現力などを問う。(高度な知識その ものを問うものではない)〕	
	地 球 科 学 科	数 理 学 科	代数・幾何, 基礎解析 物理, 化学, 生物, 地学のうちから 1 科目選択	
工学部	電 気 工 学 科 機 械 工 学 科 生 産 機 械 工 学 科 電 子 工 学 科	数 理 学 科	代数・幾何, 基礎解析 物理	
	工 業 化 学 科	数 理 学 科	代数・幾何, 基礎解析 化学	
	金 属 工 学 科 化 学 工 学 科	数 理 学 科	代数・幾何, 基礎解析 物理, 化学のうちから 1 科目選択	

(3) 共通第1次学力試験及び第2次の学力検査の配点

教科等 学部(学科・課程)		区 分	国 語	社 会	数 学	理 科	外 国 語	実 技 査	小 論 文	小 計	合 計
人 文 学 部		共通第1次 第2次	200 200	100	200	100	200 200			800 400	1,200
教 育 学 部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	共通第1次 第2次	200 200	100	200 200	100	200 200	200		800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 英語 専攻)	共通第1次 第2次	200 400	100	200	100	200 400			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (数学, 理科, 家庭 技術専攻)	共通第1次 第2次	200	100	200 400	100	200 400			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)	共通第1次 第2次	200	100	200	100	200	400		800 400	1,200
経 済 学 部	経済学科, 経営学科 経営法学科 (昼間主コース)	共通第1次 第2次	100	50	100 300	50	100 300			400 300	700
	経済学科, 経営学科 経営法学科 (夜間主コース)	共通第1次 第2次	200	100	200	100	200			800	800

理 学 部	数 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200 400	100	200			800 400	1,200
	物 理 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200 200	100 400	200			800 600	1,400
	化 学 科 地 球 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200 200	100 200	200			800 400	1,200
	生 物 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200	100 400	200		400	800 800	1,600
工 学 部		共通第1次 第2次	100		100 200	100 200	100			400 400	800

4 出 願 要 領

ア 人文学部の出願について

人文学部志願者は、学科を指定し、必ず第2志望まで付して出願すること。

イ 教育学部の出願について

教育学部志願者は、小学校教員養成課程、中学校教員養成課程の専攻教科、養護学校教員養成課程又は幼稚園教員養成課程を指定して出願すること。

ただし、第2志望を付して出願することができるが一部制限がある。

(ア) 第2志望とすることができる課程、専攻教科は次のとおりである。

第1志望の課程(専攻)	第2志望とすることができる課程(専攻)
小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	小学校教員養成課程、養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程相互間の他に 国語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語、社会、英語) 数学で受験する者は、中学校教員養成課程(数学、理科、家庭、技術) 英語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語、社会、数学、理科、家庭、 技術、英語)
中学校教員養成課程 (国語、社会、英語)	国語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語、社会、英語)相互間 英語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語、社会、英語)相互間の他に 中学校教員養成課程(数学、理科、家庭、技術)
中学校教員養成課程 (数学、理科、家庭、技術)	数学で受験する者は、中学校教員養成課程(数学、理科、家庭、技術)相互間 英語で受験する者は、中学校教員養成課程(数学、理科、家庭、技術)相互間の他に 中学校教員養成課程(国語、社会、英語)

(イ) 中学校教員養成課程(音楽、美術、保健体育)は、第2志望を付すことはできない。

ウ 経済学部の出願について

経済学部志願者は、学科を指定し、必ず第3志望まで付して出願すること。

エ 理学部の出願について

理学部志願者は、学科を指定して出願すること。ただし、第2志望を付して出願することができる。

オ 工学部の出願について

工学部志願者は、学科を指定して出願すること。第2志望は認めない。

(1) 学部間・学部内の学科(課程)昼、夜間主コース間の併願について

学部間・学部内の学科(課程)間の併願は差し支えないが、受験は1学部・学科(課程)しかできない。
ただし、経済学部「夜間主コース」志願者にあつては、二つの受験が可能である。

5 検 査 場

学力検査及び健康診断は、各学部ごとに次の検査場（予定）で行う。ただし、志願者数によっては検査場の変更（富山市内公立高等学校等）もあり得るので、**確定検査場及び検査場案内は受験票等送付の際、通知する。**

人文学部検査場

人文学部及び教養部(富山市五福)…………… (学力検査 健康診断)

教育学部検査場

教 育 学 部(富山市五福)…………… (学力検査 実技検査 健康診断)

経済学部検査場

経済学部及び教養部(富山市五福)…………… (学力検査 健康診断)

理学部検査場

理 学 部(富山市五福)…………… (学力検査 健康診断)

工学部検査場

工 学 部(富山市五福)…………… (学力検査 健康診断)

6 合格者発表

合格者は、昭和62年3月18日(水)午前9時本学（富山市五福）に掲示し、かつ、本人に通知する。電話その他による問い合わせには応じない。

7 経済学部推薦入学学生募集要項

(1) 募集人員

- ア 「昼間主コース(経済学科, 経営学科, 経営法学科)」 18名以内
- イ 「夜間主コース(経済学科, 経営学科, 経営法学科)」 20名程度

(2) 出願資格及び推薦の要件

ア 「昼間主コース」

高等学校の専門教育を主とする学科（いわゆる職業科）を昭和62年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当する者。

- (ア) 人物、学力、健康において優れ、かつ、勉強意欲が旺盛であり、高等学校長が責任をもって推薦する者。
- (イ) 高等学校の最終年次における成績が所属学科の上位10%以内の者。

なお、高等学校長が推薦できる人数は、1高等学校につき2名以内とする。

イ 「夜間主コース」

高等学校を昭和62年3月卒業見込みの就職内定者で、人物、学力、健康において優れ、かつ、勉強意欲が旺盛であり、高等学校長が責任をもって推薦する者。

(3) 出 願 期 間

昭和61年11月17日(月)から11月22日(土)正午までに必着のこと。

受付は午前9時から午後5時まで。ただし、土曜日は正午までとする。

(4) 入学者の選抜方法

推薦入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文及び面接の結果を総合して判定する。

ア 選抜期日・場所

コース	月 日(曜)	時 間 帯 等	場 所	備 考
昼間主コース	12月3日(水)	集 合 9:00	富山大学経済学部(富山市五福3190番地)	小論文作成のための資料には、 英文が含まれる。
		小論文 9:30~11:10		
		面 接 13:00~		
夜間主コース	12月7日(日)	集 合 9:00	同 上	
		小論文 9:30~11:10		
		面 接 13:00~		

イ 健康診断

- (ア) 提出された調査書により審査し、その結果、必要と認められた者について再診断を実施する。該当者の受験番号及び検査の詳細は、選抜当日の小論文終了後検査場に掲示する。
- (イ) 調査書「健康の状況」欄の記載内容が事実と相違する場合は、入学許可を取り消すことがある。
- なお、入学者に対しては4月上旬に健康診断を行い、その結果、修学に支障があると認められた者は、休学を命ずることがある。
- (ウ) 健康診断の判定は、次のとおり行う。
- 疾病あるいは障害のみを理由とする不合格の判定は行わない。

注意事項

志願者で、裸眼視力 0.3未満の者は、調査書の視力欄に矯正視力を必ず記入すること。

(5) 選抜結果の通知

選抜の結果は、**昭和61年12月20日(土)**付けで出身学校長及び本人に文書で通知する。

合格者には、合格通知書、入学確約書及び入学手続等に関する書類を送付する。

電話その他による問い合わせには応じない。

8 帰国子女及び社会人のための特別選抜について

本学では次のとおり特別選抜を行うが、詳細については別に要項があるので、240円切手(速達の場合 440円)をはった返信用封筒〔角形3号(21.6cm×27.7cm)〕を同封のうえ、「帰国子女(または社会人)特別選抜募集要項請求」と朱書して請求すること。

(1) 帰国子女特別選抜実施学部等

人文学部、経済学部「昼間主コース」、理学部(化学科、生物学科、地球科学科)

(2) 社会人特別選抜実施学部等

人文学部、経済学部「夜間主コース」、理学部(生物学科)

(3) 出 願 期 間

ア 人文学部……………昭和61年11月13日(木)～11月19日(水)午後5時必着

イ 経済学部及び理学部……………昭和61年11月17日(月)～11月22日(土)正午必着

(4) 募集要項請求先

「〒930 富山市五福3190番地 富山大学学生部学生課」

9 理学部定員一部留保第2次募集について

昭和62年度大学入学者選抜共通第1学力試験の全教科を受験した者で、かつ、いずれの国公立大学(私立産業医科大学を含み、大阪府立大学工学部を除く。以下同じ。)にも合格していない者(いずれの国公大学にも出願していない者を含む。)に対し、本学理学部物理学科では3月20日(金)から定員一部留保第2次募集を行う。この細目については、別に募集要項があるので、240円切手(速達の場合 440円)をはった返信用封筒〔角形3号(21.6cm×27.7cm)〕を同封のうえ、「理学部定員一部留保第2次募集要項請求」と朱書して、下記に請求すること。

なお、入学志願者は、出願期間が短いので、提出書類等は事前に準備しておくことが必要である。

(1) 出願期間 昭和62年3月20日(金)～3月24日(水)午後5時必着

(2) 募集要項請求先 「〒930 富山市五福3190番地 富山大学学生部学生課」



人事異動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
採用	61. 11. 7	北 野 哲		技術補佐員(経理部主計課)	富山大学長
	"	門 村 英 城		" "	"
	"	平 田 賢 治		" "	"
	61. 11. 10	酒 井 智恵子		事務補佐員(工学部)	"
	61. 11. 17	川 口 三 郎		臨時用務員(厚生課作業員)	"
	61. 12. 1	石 黒 隆 義		助教授(工学部)	文 部 大 臣
臨時的任用	61. 11. 17	村 井 節 子		教諭(教育学部附属養護学校)	富山大学長
昇 任	61. 12. 1	村 井 文 夫	講師 (人文学部)	助教授(人文学部)	文 部 大 臣
	"	室 橋 春 光	講師 (教育学部)	助教授(教育学部)	"
辞 職	61. 11. 15	青 木 義 雄	臨時用務員(厚生課作業員)	辞職を承認する	富山大学長

学 内 諸 報

叙 勲

文部省永年勤続者表彰

昭和61年秋の叙勲

11月3日付けで、昭和61年秋の叙勲が発表され、本学関係では次の方々が受章されました。

名誉教授 手嶋政男 勲二等瑞宝章
 名誉教授 片山龍成 勲三等旭日中綬章
 名誉教授 加藤 正 勲三等旭日中綬章

11月23日付けで、本学の次の方々が表彰され、11月25日事務局長室において事務局長から伝達されました。

○20年勤続表彰

工学部事務長 小林 武
 人文学部・理学部事務長補佐 高崎公文

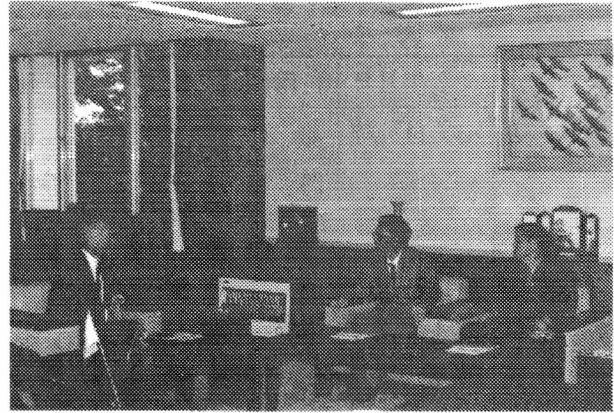
海 外 渡 航 者

渡航の種類	所属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
海外研修旅行	教育学部	助教授	丹羽 洋介	イタリア、 スペイン、 フランス	壁画技法の研究	61. 11. 3) 62. 9. 30
	理学部	教 授	小林 貞作	タイ、マレーシア シンガポール、フ ィリッピン	東南アジアにおけるゴマ遺伝 資源調査	61. 11. 10) 61. 11. 23
	教育学部	助 手	丸山 茂徳	オーストラリア	西部太平洋国際シンポジウム に出席及び大分割山脈の地質 調査	61. 11. 29) 61. 12. 11

中国遼寧大学長，同大学外事顧問の来学

去る11月4日(火)中華人民共和国遼寧大学長馮玉忠氏及び同大学外事顧問宋佑燮氏が今後の友好学術交流の打ち合わせのため来学された。

11月5日(水)両氏は富山県知事，日本医薬品工業社長を表敬訪問された後，本学経済学部301教室において馮学長は「中国経済体制改革の問題点と対外開放について」と題して記念講演（宋佑燮氏の逐次通訳による）をされ，多数の受講者を迎えて盛会のうちに終え，両氏の最終の日程である11月6日(木)吉田工業KKを見学され友好親善の成果を挙げて離富された。



昭和61年度全国公務員レクリエーション 共同行事富山地区卓球大会

昭和61年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区卓球大会が，去る11月7日（金）富山県営総合体育センターにおいて開催されました。今大会には10事業所から12チームの参加があり，本学からはA，Bの2チームが参加しました。

A，Bチームとも，予選のリーグ戦を勝ち，決勝ト

ーナメント戦へ出場し，Aチームは，決勝戦で富山医科薬科大学Aチームに敗れ惜しくも2位となりました。なお，成績は次のとおりです。

- 優 勝 富山医科薬科大学Aチーム
- 2 位 富山大学Aチーム
- 3 位 富山医科薬科大学Bチーム

海外教育事情視察を終えて

附属中学校副校長 稲垣 実

カチカチと規則正しく時を刻んでいた時計の針が，突如スピードを増して回転し始め，そしてまたカチカチと規則正しく時を刻む正常な生活に戻ったというのが現在の心境です。25日間で，世界のほぼ2/3を回るといふ体験は，おそらくこれからの私の生活にはありえないことでしょう。貴重な経験をさせていただいたと，感謝の気持でいっぱいです。

主な視察国は，ベルギー，ポルトガル，アメリカの三カ国。それぞれの国の教育行政機関で説明を受けた後，公立学校数校を訪問しました。もちろん国情の違いがあり，各国それぞれに困難な問題を抱えていました。しかし，その克服に向かって真剣に対処している関係者の姿勢に強い感銘を受けました。以下，「群像を撫ず」の感が多分にありますが，各国で見聞きしたもののうち，「言語の学習」に関することを中心に，印象的なもののいくつかをメモから転記させていただきます。

きます。

〈ベルギー ゼント市〉

・ボーレケン幼小学校 1年の国語（オランダ語）の授業。児童数20名なのにこれが3グループに分かれ，各グループに先生が1名ついている。アルファベットの発音に重点を置くグループ。単語のリーディングに



力を入れるグループ。そして、単語のスペリング練習中心のグループ。児童のウィークポイントを考えてグループ分けされているもよう。“補習のための”先生と、“グループ学習のための”先生、この2名は、必要に応じて他のクラスにも出向くとのことである。なお、1年時での国語の授業は週9時間と聞いた。

・オーギュストワグナー中学校 中・高6年間のうち、最初の2年間を担当する。この期間はcycle d'observation（観察期間）と呼ばれ、生徒の学力・性格等を“観察”する。生徒は12~14才であるが、小学校卒業の証明書が必要である。「言語」は共通科目の中に、国語（オランダ語）と外国語（フランス語か英語）があり、さらに選択として、週2時間のラテン語をとることができる。1年のフランス語では、家庭劇で親子が休日にフランスへ遊びに行く設定で、また英語の授業では、バス停でのイギリス人との会話の設定など、身近な場面でのoral 重視が見受けられた。また、英語のノートがパスポートの形式で始まっている点など“国際性”を感じた。

・軽度障害児施設（BLIJ-B.L.O -Happy Schoolの意） 10人位の生徒による人形劇で、私たちを迎えてくれた。魔女、ロボット、熊などが登場する楽しい寸劇で、後で聞くとところによると、puppet therapyといわれ、プロットも生徒たちの手によるものだという。これだと歌・ダンスをまじえて、言葉・体の動きの総合的伸長がねえらえると思った。子供たちはとても明るく活発に活動しており、私たちにも気さくに声をかけてきた。

〈ポルトガル リスボン市〉

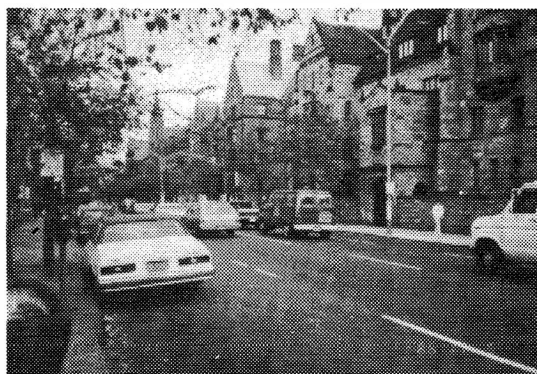
まず、教育省中等教育局にて、この国の教育制度・施設などについて説明を受ける。この場には、ヨーロッパ教育使節団の一員として訪日された経験のある人が3名も出席しておられた。日本の小学校5・6年生にあたる年齢から中学校となり、外国語としてはフランス語・英語・ドイツ語のうち1つ選択。約8割の生徒が英語を希望する現状である。日本の中学校にあたる高校からは第二外国語もあるという。午後訪問したベンフィカ高校では、生徒代表2名も私たちの案内にあたり、立派な英語を話していた。

なお、この国では技術教育にも大変力が入れられており、細かなプログラムが考案され、多様化されたコースが設けられていた。

〈アメリカ コネチカット州ニューヘヴン市〉

市教委指導主事パルミエル氏より、当市の学校制度

について説明を受ける。特に興味深かったのがmagnet school。マグネットは“磁石”。あるテーマをとりあげそれに多少アクセントをつけた普通教育。“磁石”のように人を“吸い寄せ”意味で命名されたい。次いでパルミエル氏に同行した白田賢二氏（エール大学助教授）より「ニューヘヴンのバイリンガリズム」の話を聞く機会があった。（バイリンガリズムとは、一人の人が何らかの形で二つ、あるいはそれ以上の言語を習得し、それらを用いる現象を指す）。今日のアメリカにおけるバイリンガリズムの現実、バイリンガ



ル教育の意義、その一手段としてのマグネットスクールの開設など、非常に示唆に富んだものであった。

・ワースントンフッカー小学校 音楽を“核”とするマグネットスクールである。コダーイ（Kodaly）という人の音楽教授理論に基づく指導法である。決められたハンドシグナルで声を出す。この方法だと、36国籍があるという児童たちも、“言葉の障害”を乗り越えて活動できる。私たちの前で、3・4年生が廊下で一緒になって「出た出た月が……」を合唱してくれた。流暢な日本語で、元気よく歌い、なかなか迫力があつた。

・ウェストヒル小学校 “Bank Street”という理論で“Follow Through”（仕事・計画などの完遂、実行）を目指すマグネットスクール。目標の具現化の点ではもう一つピンとこなかったが、目を引いたのは、保護者と学校との協力であった。保護者が希望すれば教室での学習活動に参加でき、才能ある保護者が音楽とか外国語を教えることもできるシステムが確立されていた。そのための“Parent room”という部屋が校内に確保されていた。

今回の視察では、各国の“多様さ”に強烈なインパクトを受けました。どの国も、予想以上の多民族・多言語の複合社会でした。日本の“均一性”は世界で希有なものようです。彼我の違いの優劣を論ずるので

はなく、少なくとも“多様さ”に慣れていくことが、
“国際化”への近道のような気がしています。

▶ 筆者は、昭和61年度国立大学・学部附属学校等教

官海外教育事情視察派遣者として、昭和61年10月17
日から昭和61年11月10日までの25日間主視察国とし
てベルギー、ポルトガル、アメリカ合衆国へ外国出
張されましたので、特に寄稿を御依頼したものです。

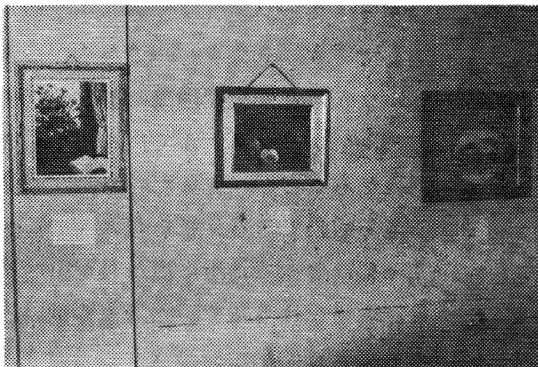
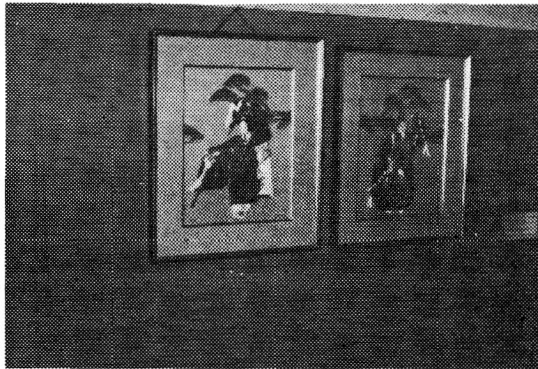
学内レクリエーション

〈昭和61年度教職員文化展〉

富山大学レクリエーション委員会	} 共催
文部省共済組合富山大学支部	
開催日 11月5日(水)～7日(金)	
場 所 学生会館	

展示作品

華道班 22点	手芸班 40点
書道班 12点	絵画班 12点
写真班 13点	盆景班 4点



〈卓球大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会卓球班主催による昭和61年度学内卓球大会が、去る11月15日(土)富山大学第2体育館で実施されました。

なお、成績は次のとおりです。

団体戦

優 勝	教養部チーム
次 勝	教育学部チーム
三 位	人文学部・理学部チーム

個人戦

・男子

優 勝 森田義則(工学部)

次 勝	森 克徳(教養部)
三 位	柴田 淳(人文学部・理学部)
四 位	西垣 登(庶務部)

・女子

優 勝	大山口由利(教育学部)
次 勝	多村節子(経済学部)
三 位	尾崎美幸(人文学部・理学部)

〈釣大会〉

本学レクリエーション委員会娯楽部会釣班主催による昭和61年度学内釣大会が、去る11月15日(土)午後1時30分から新湊漁港において実施されました。

大会は、釣り上げた魚の総重量により入賞が決定された。

なお、成績は次のとおりです。

- 一位 森田憲治 (経理部)
 二位 杉本周平 (工学部)
 三位 福山 浩 (施設課)

〈バドミントン大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会バドミントン班主催による昭和61年度学内バドミントン大会が、去る11月29日富山大学第3体育館で実施されました。

なお、成績は次のとおりです。

- 優勝 本部チーム
 次 勝 工学部チーム
 三 位 人文学部・理学部チーム

職 員 消 息

〈新任者住所〉

工 学 部

事務補佐員 酒 井 智恵子
 (生産機械工学科)

助 教 授 石 黒 隆 義

人文学部

文部事務官 武 田 知己郎

文部事務官 長 崎 宏 美

文部事務官 高 木 晃

〈電話番号変更〉

経営短期大学部

文部事務官 高 橋 春 男

教育学部

文部事務官 長 崎 悟

〈町名変更〉

庶 務 課

文部事務官 草 島 伸 雄

教 養 部

事務補佐員 鍛治田 信 子

〈住所変更〉

計 報

富山大学名誉教授 柿岡時正氏逝去

本学名誉教授柿岡時正氏は、昭和61年10月2日胃ガンのため逝去されました。享年73才。

同氏は、昭和13年3月東京帝国大学文学部哲学科を卒業、更に同16年12月京都帝国大学文学部哲学科を卒

業され、文部省、私立大学講師、高岡工業専門学校教授などを経て、同25年11月富山大学文理学部助教授に就任され、同42年4月富山大学教養部助教授、同年9月、教授に昇任、同54年4月1日停年により退官され

ました。

この間私立大学に奉職以来36年有余にわたり、常に厳格な教育姿勢の中にも懇篤な温情をもって、学生の教育と指導に当たられました。

一方、研究面においては、学問的研究の主題としてカントとマルクスの哲学的関係を取り上げられ、「富山大学教養部紀要」に連載された「カントとマルクス1-10」の論文において詳述されています。カントの先験的弁証論における二律背反を近世的弁証法の出発点と解され、カントの哲学を経験的・批判的・人間的弁証法の立場と見なしておられます。すなわち、カントの立場は、神・自然(物質)のような絶対者からの人間解放であり、マルクスはその基底上での人間から

の人間の解放であると述べておられます。さらに、カントの批判哲学をすぐれた経験主義的弁証法であると評価され、カントよりドイツ観念論を経てマルクスに至る過程を弁証法(経験的)の一連の発展と見ると共に、西洋近世哲学に対する新しいアプローチを試みておられます。

また同54年4月、富山大学発展のために寄与された功績により、富山大学名誉教授の称号が授与されました。

なお、葬儀は、10月4日東京都内江古田斎場で執り行われました。

ここに御冥福を祈り謹んで哀悼の意を表します。

主 要 行 事

本 部

- 11月1日 学内麻雀大会
 4日 第4回会計係長会議
 6日 第1回文化部会
 第2回体育部会
 7日 第1回教務委員会
 10~12日 昭和61年度文部省会計実施監査
 11日 昭和61年度東海・北陸地区管理事務協議会
 (於：福井医科大学)
 高等学校と大学との懇談会
 12日 第43回東海・北陸地区国立学校庶務部課長
 会議(於：福井医科大学)
 12~13日 国立大学協会第79回総会(於：学士会館)
 13~14日 第68回東海・北陸地区国立大学学生部課長
 会議(於：名古屋大学)
 14日 国立大学協会第46回事務連絡会議
 (於：学士会館)
 第10回学長選考基準検討委員会
 15日 学内卓球大会
 学内釣大会
 15~16日 第31回大学祭
 17日 第6回学園ニュース編集委員会
 第2回富山大学情報処理センター運営委員

- 会
 第1回学務専門部会
 18日 第3回部局長懇談会
 授業料等減免選考委員会
 第4回補導協議会
 20日 第3回総合大学院検討委員会自然科学部会
 21日 第8回評議会
 第4回大学院委員会
 外国人留学生工場見学会
 外国人留学生懇談会
 21~23日 全国学生相談研修会(於：国立教育会館)
 25日 部課長会議
 第6回事務協議会
 体育施設協議会
 26日 昭和61年度奨学金返還に関する説明会
 北陸地区大学学生部懇話会(於：洗足学園
 魚津短大)
 28日 第57回構内交通対策委員会
 28~29日 臨時東海・北陸地区国立大学学生部次長教
 務部長会議(於：金沢大学)
 29日 学内バドミントン大会
 学内将棋大会

人 文 学 部

11月11日 昭和61年度文部省会計実地監査
12日 教授会
13～19日 帰国子女及び社会人特別選抜の願書受付
25日 社会人特別選抜（第1次）
27日 事務連絡会

教育学部

11月4日 日本教育大学協会第一常置委員会
（於：東京学芸大学）
5日 人事教授会
附属養護学校体験入学
7日 教育実践研究指導センター運営委員会
8～9日 日本教育大学協会北陸地区会教育学・教育心理学・特殊教育・幼児教育部門研究協議会（於：福井大学）
10～15日 附属養護学校，附属幼稚園入学（園）願書受付
11日 昭和61年度文部省会計実地監査
12日 学部教務委員会
学部入学者選抜方法検討委員会
教授会
人事教授会
14日 日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会（於：東京ガーデンパレス）
内科検診
19日 予算委員会
19～21日 全国国立大学附属学校園副校長会研究会及び、全国国立大学附属学校管理運営等協議会（於：鳥羽市）
21日 附属養護学校教育実践研究会
28日 学部職業補導委員会

経済学部

11月1日 国立11大学経済・経営学部教官懇談会
（於：横浜国立大学）
5日 人事教授会
助手室業務運営委員会
教授会
夜間主コース運営委員会
12日 昭和61年度文部省会計実地監査

14日 夜間主コースを設置している5大学懇談会
（於：青山会館〈東京〉）
学部補導委員会（持ち回り）
17～22日 経済学部推薦入学，帰国子女，社会人特別選抜願書受付
20日 秋季国立11大学経済・経営学部長及び事務長会議（於：富丘会館〈東京〉）
21日 定期健康診断（内科検診，尿検査，血圧検査）
26日 学部教務委員会
人事教授会
教授会

理学部

11月7日 学部総合大学院検討委員会
10日 学部補導委員会
学部入試改善委員会
11日 昭和61年度文部省会計実地監査
12日 教授会
研究科委員会
人事教授会
17～22日 帰国子女及び社会人特別選抜の願書受付
26日 帰国子女及び社会人特別選抜（第1次）
27日 事務連絡会

工学部

11月5日 係長連絡会
7日 健康診断（内科，尿検査，血圧検査）
11日 昭和61年度文部省会計実地監査
13日 教員資格基準検討委員会
19日 工学研究科委員会
専任教授会
26日 学部改革検討委員会

教養部

11月12日 昭和61年度文部省会計実地監査
将来計画委員会
19日 人事教授会
教授会

26日 推薦委員会

附属図書館

- 11月6日 昭和61年度北信越地区国立大学図書館研修
～7日 会（於：上越教育大学）
- 10日 昭和61年度文部省会計実地監査
- 13日 電算化ワーキンググループと富士通SEとの
打ち合せ
- 17～20日 昭和61年度大学図書館職員講習会
（於：京都大学附属図書館）
- 20～21日 昭和61年度北信越地区国立大学附属図書館
事務（部・課）長会議（於：富山大学附属
図書館）
- 21日 職員定期健康診断
北陸地区国立大学図書館会計担当者会議
（於：金沢大学附属図書館）
- 27日 係長事務打ち合せ会

トリチウム科学センター

- 11月10日 昭和61年度第4回トリチウム科学センター
運営委員会（持ち回り）
昭和61年度文部省会計実地監査
- 27日 昭和61年度第1回トリチウム科学センター
機種選定委員会

保健管理センター

- 11月5日 臨時健康診断（ロードレース参加者）
- 7日 職員健康診断（工学部）
- 10日 昭和61年度文部省会計実地監査
- 12日 臨時健康診断
（在来生合宿研修“スキー”参加者）
- 14日 職員健康診断（教育学部）
- 19日 臨時健康診断
（在来生合宿研修“スキー”参加者）
- 21日 臨時健康診断（経済学部、附属図書館）
- 26日 臨時健康診断
（在来生合宿研修“スキー”参加者）

経営短期大学部

- 11月12日 昭和61年度文部省会計実地監査
- 13日 学部教務委員会
- 17日 授業料等減免選考委員会
- 20日 教授会
- 21日 教授会（持ち回り）
- 28～29日 国立短期大学協会第2部会（於：東京都）

◇訂正（おわび）

学報 昭和61年11月1日発行 第276号

ページ	訂正箇所	誤	正
4	学内レクリエーション 〈麻雀大会〉	3月1日(土) ~~~~	11月1日(土) ~~~~

資 料

昭和62年度に開催予定の主要会議及び大会行事予定表

期 月	日 日	会 議 の 名 称	主 催 者 名 (担当課)	会 場	参 加 範 囲	参加予定人数		
						県内	県外	計
5	下旬	昭和62年度春季国立11大学 経済・経営学部長及び事務長会議	富山大学 経済学部	富山大学 経済学部	全 国	5	22	27
7	12 (中心)	第39回北陸地区国立大学体育大会	富山大学学生課	富山大学及び県 内の体育施設	北陸地区国立大 学の学生	1,200	1,500	2,700
8	20 } 21	北陸三県地学地理学会	地学地理学会	東砺波郡平村 山村研究所	北陸三県地学地 理学会会員・一 般参加者	70	30	100
10	3 } 4	日本化学史学会富山大会	日本化学史学会	富山大学 教育学部	全 国	100	200	300
10	6	日本独文学会北陸支部総会並びに 研究発表会	日本独文学会 北陸支部	富山大学 教養部	北陸地区日本独 文学会会員	20	50	70
10	6 } 8	第38回塑性加工連合講演会 (全国大会)	社団法人 日本塑性加工学 会	富山大学 工学部	日本塑性加工学 会会員、その他 (全国)	200	1,300	1,500
10	7 } 9	日本動物学会第58回大会	日本動物学会 第58回大会準備 委員会委員長 小嶋 学	富山大学 教養部	日本動物学会会 員・一般参加者	150	850	1,000
10	下旬	第20回北陸信越地区工学部長会議	富山大学工学部	富山大学 工学部	地区工学系学部 大学	7	12	19
11	3 } 4	日本機械学会90周年記念講演会	社団法人 日本機械学会 北陸信越支部	富山大学 工学部	日本機械学会及 び精機学会会員 (全国)	50	50	100

◎ 退庁，退室の際には，戸締りの徹底・電気，ガスの消し忘れ，タバコの吸殻の後始末に十分注意し，盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!

◎ 電気，ガス，水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

- ◎ 積雪・凍結時の自動車等の運転は、極力取り止
めましょう!!
- ◎ 積雪時は、構内除雪の障害とならないよう駐車
に注意しましょう!!
- ◎ 構内での自動車等の運転は、教育・研究に支障
を来さないよう安全運転に努め定められた交通方
法、歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電 話 (24) 1755代